

製品購入でCO₂削減

マークテック

環境問題を最重要課題と位置づけ

マークテック（東京・大田区）が2023年4月から進めている染色浸透探傷剤『エコチェックシリーズ エアゾール製品』の販売を通じた地球温暖化対策への取り組みについて、昨年度に引き続き25年度も継続的に実施している。

これは対象製品を購入するごとに、同社がカーボンクレジットを購入し、対象製品6缶につきスギの木約1本分の年間CO₂吸収量に相当するCO₂の削減に貢献するというもの。

昨今、脱炭素型経済へ



製品購入でCO₂削減

の移行に向けたエネルギー転換や脱炭素電源の活用、成長志向型カーボンプライシングの導入を通じた経済成長と環境保全の両立などが掲げられている。

こうしたなか、マークテックでは環境問題を経営上の最重要課題と位置づけて①同社の一部製品を梱包する段ボールについてFSC認証品の採用を開始（今後拡大を予定）②本社ビルの空調設備等の改修に伴う、省エネ対応品の購入金を掲げて取り組んでいる。

対象製品は、染色浸透探傷剤「エコチェックシリーズ」。

エアゾール製品（450型及び600型）CO₂削減への貢献としては、対象製品6缶あたり、約8・8キロのCO₂を削減（スギの木で約1本の年間CO₂吸収量に相当）となる。

産報出版株式会社 発行

検査機器ニュース 第1541号（2025年8月5日）